

医療機関や薬局専門の内装工事

想いのこもったデザインを通じ 医師、患者、皆のドラマをつくるお手伝いを

総合医建

総合医建（横浜市瀬谷区中屋敷、関拓也代表取締役、045・440・6310、<http://i-sougou.jp/>）は、医療機関や調剤薬局に特化した内装工事業を営んでいる。

これまでの施工事例は、横浜市の内科医院をはじめ、豊島区の皮膚科医院、杉並区の内科医院など、東京・神奈川の約400件にのぼる医療機関、調剤薬局の開業支援を手がけてきた。

従来・現在・将来を見据えて顧客との打合せを重ね、「運用」を徹底的に考え抜きながらも心の通うあたたかみを感じるようなデザインをご提案して、医師、スタッフ、そして患者さんが安心して医療を授受できる医療機関をつくってきた実績と信頼がある。

関社長は、「たとえ壁を解体するときも、壊すという行為そのものほども変わらなかもかもしれません、その医院の歴史や使っていた医師の想いを想像すると、感慨深いものです。どんな医療機関にも人生を背負ったた皆さんのドラマがあり、それぞれの気持ちに詰まっています。ハードウェアを造るといって目に見える作業以上に、そうしたドラマの一員として私たちが仕事をさせていただいていることに誇りを持ってい

ます」と現場づくりに賭ける想いの丈を語ってくれた。

これからも、いくつもの医療機関のストーリーを見届け、多くの笑顔のなかに息づく企業であり続ける。



施工事例（横須賀市）